

## テーマ：摂食・嚥下障害へのアプローチ

座長：北九州市医師会理事 白石公彦（医師）

産業医科大学リハビリ医学講座助教授 佐伯 覚（医師）

- 1．摂食・嚥下障害の概要 産業医科大学リハビリ医学講座助教授 佐伯 覚（医師）  
地域リハにおける摂食嚥下障害の重要性、臨床所見、誤嚥の病態、スクリーニング検査
- 2．嚥下造影、内視鏡検査 産業医科大学リハビリ医学講座助手 千坂洋巳（医師）  
嚥下造影、内視鏡検査による摂食嚥下障害診断の実例と対策
- 3．訓練の実際 産業医科大学病院リハビリ部言語療法室主任 野崎康夫（言語聴覚士）  
摂食嚥下障害の直接的、間接的訓練のやり方
- 4．嚥下治療食の実際 産業医科大学病院栄養部主任 黒木絹子（栄養士）  
病院における嚥下治療食の実例と市販食品
- 5．介護食の実際 介護老人保健施設サングレース 岩切尚美（栄養士）  
後期高齢者の介護食の実際
- 6．看護の実際 産業医科大学病院看護部 横手薫子（看護師）  
食事介助や生活指導
- 7．歯と咀嚼 門司歯科医師会・木尾歯科医院 木尾泰久（歯科医）  
歯科医師への相談、在宅高齢者や片麻痺患者の義歯と咀嚼、口腔ケアの重要性
- 8．口腔ケアの実際 芳野病院 廣田真理子（歯科衛生士）  
自宅でも簡単にできる口腔ケアの実際（実技を中心に）
- 9．総合討議